

授業科目 NO. 808 助産学方法論 V (助産技術演習)

Midwifery V (Midwifery Skills Seminar)

授業の形態： 演習

単位数(時間数)： 1 単位 (30 時間)

開講年次・学期： 4 年次・前期

必修・選択の別： 選択・助産師選択コース必修

キーワード： 分娩期、助産診断、助産実践、分娩介助技術

1 金沢医科大学看護学部の到達目標 (全科目共通です)

- ① 豊かな人間性と倫理観
- ② 看護学の知識と技術、及び実践力
- ③ 地域志向を視野に入れた専門性の獲得
- ④ 生涯学習能力
- ⑤ 国際的視野の獲得

2 学習目標

1) 一般目標 (GIO)

分娩開始(入院時)から分娩第4期までの助産実践に必要な知識及び技術を修得する。

2) 行動目標 (SBO) ※カッコ内の数字は上記の金沢医科大学看護学部の到達目標との関連を示す。

- (1) 分娩各期に必要な助産ケア及び分娩介助技術の根拠を説明し、基本的技術を修得できる。
(②)
- (2) 分娩各期の助産診断を行い、分娩経過及び産婦のニーズに応じた助産実践を提供できる。
(①②)

3 学習内容

授業の内容については、授業計画に示す。

4 評価

評価項目	評価割合
定期試験成績	40%
実習成績	
レポート	
授業態度	10%
小テスト	
口頭試問	
その他	50%
合計	100%

(特記事項) 実技試験 50%は、ルーブリック評価とする。

5 教育担当者

科目責任者：三反崎 宏美

准教授 山崎 智里 (母性看護学・助産学)
 講師 三反崎 宏美 (母性看護学・助産学)
 助教 林 智美 (母性看護学・助産学)
 助手 大嶋 舞香 (母性看護学・助産学)

6 教育担当者の実務経験

担当教員は、看護師・助産師として周産期医療機関における実務経験を有している。

7 教科書

- 1) 町浦美智子 (編) : 助産師基礎教育テキスト第 5 巻 分娩期の診断とケア、日本看護協会出版会
- 2) 小林康江 (編) : 助産師基礎教育テキスト 第 7 巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア、日本看護協会出版会
- 3) 我部山キヨ子 / 藤井知行 (編) : 助産学講座 7 助産診断・技術学Ⅱ〔2〕分娩期・産褥期、医学書院
- 4) 石井邦子 / 廣間武彦 (編) : 助産学講座 8 助産診断・技術学Ⅱ〔3〕新生児期・乳幼児期、医学書院
- 5) 北川真理子、内山和美 (編) : 今日の助産 マタニティサイクルの助産診断・実践過程、南江堂
- 6) 平澤 美恵子他 (監修) : 新訂版写真でわかる助産技術アドバンス、インターメディカ
- 7) 病気が見える Vol.10 産科、Medic Media

8 推薦参考書

- 1) 進純郎 (著) : 分娩介助学、医学書院
- 2) 岩田塔子 (著) : 体位別フリースタイル分娩介助法、メディカ出版
- 3) 村上明美 (編) : DVD で学ぶ開業助産師の「わざ」フリースタイル分娩介助、医歯薬出版

- 4) 進純郎他（著）：正常分娩の助産術－トラブルへの対応と会陰裂傷縫合、医学書院
- 5) 荒木勤（著）：最新産科学 正常編、文光堂
- 6) 荒木勤（著）：最新産科学 異常編、文光堂
- 7) 公益社団法人 日本産科婦人科学会、公益社団法人 日本産婦人科医会（編）産婦人科診療ガイドライン 産科編 2020
- 8) 中井章人（著）：図説 CTG テキスト アドバンス-助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）®レベル III 更新必須研修対応テキスト、メジカルビュー社
- 9) 中井章人（著）：図説 CTG テキスト-助産実践能力習熟段階（クリニカルラダー）®レベル III 認証 CTG 必須研修対応テキスト、メジカルビュー社
- 10) 藤森敬也（著）：改訂 4 版 胎児心拍数モニタリング講座：大事なサインを見逃さない！、メディカ出版

9 準備学修に必要な時間及び具体的な学習内容

- 1) 授業 1 コマにつき、事前学修・事後学修として計 45 分程度必要である。
- 2) 指示された事前学修を行って授業に臨むこと。
- 3) 周産期の診断及び助産実践に必要な知識について、
 - ・公益社団法人 日本産科婦人科学会、公益社団法人 日本産婦人科医会(編)産婦人科診療ガイドライン 産科編 2020 (https://www.jsog.or.jp/activity/pdf/gl_sanka_2020.pdf)
 - ・エビデンスに基づく助産ガイドライン－妊娠期・分娩期・産褥期 2020 (https://www.jyosan.jp/uploads/files/journal/JAM_guideline_2020_revised20200401.pdf) にアクセスして、コンセンサスが得られた適正な標準的助産診断・管理法を理解し、ノートにまとめておくこと。
- 4) 分娩介助技術等の助産実践について授業時間外で練習を希望する場合は、担当教員に申し出ること。

10 課題（試験やレポート等）に関するフィードバック

実技試験に関しては、評価表を基に到達度や課題をフィードバックする。

11 履修上の注意事項

- 1) 事前学修をしっかりと授業に臨むこと。
- 2) 演習室使用時は実習衣着用のこと。
- 3) 分娩期のケア（分娩介助含む）については、助産学方法論Ⅱの内容及び配布資料を熟読し、一つ一つの動作の根拠を理解したうえで正確に行うこと。

12 オフィスアワー等

質問は随時可。ただし事前にメール連絡等することが望ましい。

三反崎 E-mail : mitasaki@kanazawa-med.ac.jp

第4学年

助産学方法論V
(助産技術演習)

学期	回数	開講日	時限	区分	講義・実習内容	レポート/小テスト等	講座・科目群名	教員名
前	1	4月11日(木)	1	演習	分娩介助技術:清潔野作成～分娩介助1		母性看護学・助産学	山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	2	4月11日(木)	2	演習	分娩介助技術:清潔野作成～分娩介助2		母性看護学・助産学	山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	3	4月11日(木)	3	演習	分娩介助技術:清潔野作成～分娩介助3		母性看護学・助産学	山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	4	4月11日(木)	4	演習	分娩介助技術:清潔野作成～分娩介助4		母性看護学・助産学	山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	5	4月18日(木)	1	演習	分娩介助技術:分娩第1～3期のケア1		母性看護学・助産学	山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	6	4月18日(木)	2	演習	分娩介助技術:分娩第1～3期のケア2		母性看護学・助産学	山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	7	4月18日(木)	3	演習	分娩介助技術:分娩第1～3期のケア3		母性看護学・助産学	山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	8	4月18日(木)	4	演習	分娩介助技術:分娩第1～3期のケア4		母性看護学・助産学	山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	9	5月09日(木)	1	演習	事例展開による助産診断と助産実践の提供1		母性看護学・助産学	山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	10	5月09日(木)	2	演習	事例展開による助産診断と助産実践の提供2		母性看護学・助産学	山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	11	5月09日(木)	3	演習	事例展開による助産診断と助産実践の提供3		母性看護学・助産学	山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	12	6月05日(水)	1	演習	分娩期の助産実践1	実技試験	母性看護学・助産学	山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	13	6月05日(水)	2	演習	分娩期の助産実践2	実技試験	母性看護学・助産学	山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	14	6月05日(水)	3	演習	分娩期の助産実践3	実技試験	母性看護学・助産学	山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手
前	15	6月05日(水)	4	演習	分娩期の助産実践4	実技試験	母性看護学・助産学	山崎准教授,三反崎講師,林助教,大嶋助手